

## CASEC における Can-Do 記述の開発と結果の考察

[株式会社教育測定研究所企画]

池田 直樹 (株式会社教育測定研究所)

小林 夏子 (株式会社教育測定研究所)

林 規生 (株式会社教育測定研究所)

CASEC は、英検が基礎開発した日常生活・学校生活・ビジネスの場などに密着したシチュエーションを想定し作られた英語コミュニケーション能力判定テストである。テストは4つの分野（語彙の知識、表現の知識、リスニングにおける大意把握、具体情報の聞き取り能力）で構成されている。受験者に表示される結果ページには、CASEC スコアのほかには、TOEIC(R)スコア目安や英検級への合格の可能性なども表示される。さらには、総合的なコミュニケーションレベル、レベル別習熟度や今後の学習に対するアドバイスなども表示される。

近年、こうしたテストにおいては、単なるテストスコアだけでなく、より具体的なフィードバックを受験者に提供することが求められている。特に「～できる」といった Can-Do 形式の記述は、あるスコアを持つ受験者が英語を用いてできることを具体的に明記することで、スコアの意味する受験者の英語力がより明確にイメージできるようになると考える。CASEC では、今までに提供しているレベル別習熟度に加え、さらに詳細かつ具体的に Can-Do という形式で受験者へのフィードバックを提示できるように改善することを目的としてデータ収集を行い、その対応付けを行った結果を新しいサービスとして 2011 年 10 月に公開した。本発表では、CASEC における Can-Do 記述の開発の課程を詳しく説明する。また、開発した Can-Do 記述においては、あらかじめ想定した難易度というものがあったが、分析結果からその想定との乖離がどのような点において発生しているかなど、分析結果と対応付けに際しての考察を詳しく発表する。

**Ikeda, Naoki: Researcher of Research and Development Division  
Master in TESOL from Sophia University**

**Kobayashi, Natsuko: General Manager of Research and Development Division  
Ed.M. in Educational Measurement and Evaluation from Teachers College, Columbia University**

**Hayashi, Norio: An executive at The Japan Institute for Educational Measurement, Inc.**